

研究の意義・目的について

放射線検査の線量最適化を目的として、J-RIME(japan network for research and information on medical exposures)から放射線検査の線量指標が公表されました。しかし、その枠組みの中にERCP(endoscopic retrograde pancreaticholangiography)検査は含まれていません。消化器系疾患におけるERCP検査の重要性は増してきており、患者さんに安心して検査を受けていただくためにもERCP検査の被ばく線量の最適化は大切です。本研究は当院の装置における線量の最適化を行うにあたって、基礎的な検討と臨床評価を行います。

研究方法

当院で使用している検査プログラムを用いてファントム実験と臨床画像評価を行って、今後臨床使用する線量の見直しが必要かどうかについて検討します。

予測される利益・不利益について

患者さんに適応するプログラムは、従来使用していたプログラムより被曝低減可能なもので本研究による被ばくの増加はありません。また、本研究による検査手技への影響はありません。

個人情報の保護について

個人情報を直接同定できるような情報は使用いたしません。また、研究の途中においてもこれらの情報が漏れることのないよう細心の注意を払います。

患者さんへのお願い

研究は、通常診療の線量データを使用するため個別に患者さんへ説明することは必要ないと考えています。このホームページへの掲示をもってご理解いただいたものとして研究を実施いたします。本研究内容の主旨をご理解頂き、研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究結果の公表について

本研究結果は学会等で発表する予定です。

費用について

この研究に関して、患者さんへ追加でご負担いただく費用はありません。また、謝礼もありません。

研究結果の公表について

(公財)天理よろづ相談所病院 放射線部 東 慎之介(研究責任者)
電話 0743-63-5611(内線3147)